

9月(左)全面開花した芝罘植物公園で

## こんなまちにすみたいな

東富水小学校1年

石井 華



(市制50周年記念作文コンクール)市長賞

わたしの、いえは、れんしょうじに、あります。いま、いえのまわりは、かくせいり、ひろいみや、きれいなこうえんや、いえが、ではじめました。

まえは、たんぼと、おがわと、ほそいみちと、おしいちやんが、よくつりをしていたところ、おきなぎが、あるだけでいた。二ねんまえの、ふゆに、ブルドーザーや、ショベルカーがきて、たんばや、おがわに、どんどんつが、はいつてしまいました。そして、たいらになりました。おばあちゃんが「かえるや、むしのこえが、きこえなくなったらさびしいね」と、いいます。

いつも、じんじやから、きこえていた、ふくろうのこえが、いつのまにか、きこえなくなりました。おとうさんが、きつと、たべものが、なくなつて、ここには、すめなくなつたのだらう。」と、おしえてくれました。

いま、わたしの、いえのまえの、こうえんには、まいにち、おともだちが、たくさんあつまつて、あそんでいます。いぬをつれた、おじさんや、おばさん、とおります。みちには、じどうしゃも、たくさんとおるようちに、なりました。このまえきんじよのおにいさんが、じてんしゃにのつて、こつうここに、あつてしまいました。オートバイもうるさいです。

みらが、きれいになつて、わたしは、じてんしゃや、りんしゃが、すくに、のれるようちに、なりました。

べんりに、なつてうれしいですが、この、どうろのしたに、とじめられてしまった、ちいさな、さかなや、ざりがにのことを、おもつと、ちよつぱりかなしいです。

すかには、どうぶつや、しまふつは、たすけあつて、いきいてると、かいてあります。わたしの、いえの、まわりには、むしや、さかなや、カエルやへびらない、まぢが、もうすくできます。

どのいえにも、きや、はなを、いっばいうえて、たくさんの、むしや、どうぶつたちといっしょにするめ、まぢに、なつたらいいなあ、おもいます。

## 目次

○ 市長と市民との座談会	2~3	まつり・郷土芸能・土産	8~9
○ 市民が選ぶ小田原50選		○ 市制50周年の記念式典	10~11
景 勝	4~5	○ 年表50年の歩み	10~11
まちなみ	6~7	○ 市制50周年の記念行事	12

# 明日の小田原を語る

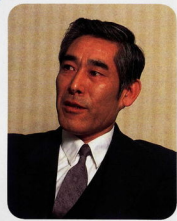
## 座談会

### 山橋市長と

### 満50歳を迎えた市民



山橋 敬一郎 市長



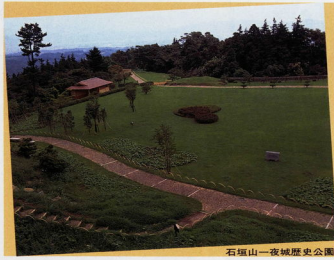
小林信雅さん(酒匂在住)



塩鎌雪子さん(蓮正寺在住)



榮 洋子さん(栢山在住)



石垣山一夜城歴史公園

市制五十周年を迎えたことを記念し、山橋市長を囲んで座談会を開催しました。出席者は、市誕生と同じ昭和十五年十月に生まれた市民の方から選ばせていただいた人です。小田原生まれ育った方や、仕事や結婚で移られてきた方までさまざまですが、明日の小田原の望ましい姿を感じたままにお話していただきました。

まずは、自己紹介をかねてと自覚しています。家系は代々小田原の印象をお気軽にお話しください。  
 私は、小田原で生まれ、漁師で、砂浜も広く遊び場に育ちました。まさに小田原っ子は事欠きません。今も昔

### 変わり始める小田原 大学開校や駅前再開発も

**市長** 私は小田原で生まれ育ちましたが、相対的にはあまり環境は変わっていないという印象の方が強いかもしれません。変わっているのは鴨宮と水田環境で、田内は全然変わっていないようにです。

城下町といふことで、地域の結東が非常に強く、外の方も手くには受け入れなかったことや、新幹線が開通するまではわずかに通勤圏をはずれていたために、一時の首都圏圏外の波とび、ここへ来たかという、いわば、人情が厚い代りに、その受け入れにくいところがあると感じます。

**市長** 小田原にしては、まだ聞かない大川さんは、まだまだ小さな印象をお持ちですか。

**大川** 私は、教会関係の仕事で全国を転々としており、小田原に来て三年ですが、今も全体の印象は、城下町という古い伝統のあるところだと思います。大川に近づくにつれて、意外なところも出てきて、同時に

「向こう三軒両隣」という地域のコミュニティ意識が強く残っていると感じました。

**塩鎌** 私は十年前に新潟からこの小田原に引っ越しましたが、富士山は見ると新潟にいたときも自然が豊かで、自然とちがってよく和らしていると思いました。

また、新潟でやっていた本の読み聞かせグループをこちらでも楽しんでいます。



美しい浜は守りたいもの(御幸の浜海岸)

なってきたことと、砂浜を少しでも増やそうといふ相当地模案海岸や砂の問題もありますが、安全計画が立てられ、時間がかかりますが望みは出てきています。

また、昔からの家が格別高いお祝事の風習が残り、残っているのは驚きでした。

**榮** 小田原に嫁いで来二十五年になりますが、子どもが小田原に近い場所で、育ったことは御幸の浜に近い海浜に来たつもりです。今は浜は充分狭くなりましたが、これ以上狭くならないように守ってほしいですね。

も、まちはあまり変わっていないですが、砂浜が狭くなってきたことが残念です。

**小林** 私は、小田原に二十二年になりました。小田原で中学校の教師をしています。住まいは酒匂ですが、鴨宮の区画整理が早くで分化されました。原野は細かかっていたが、今はみんな家が建つようになりました。すごい勢いでまたあたりと印象が変わります。

保守的な土地だとお聞きしましたが、私はそんなに開きませんでした。

**市長** 住む地域によつてまちの移り変わりの様子が違います。小林さんはいかにですか。

**小林** 小田原に来る二十二年になりました。小田原で中学校の教師をしています。住まいは酒匂ですが、鴨宮の区画整理が早くで分化されました。原野は細かかっていたが、今はみんな家が建つようになりました。すごい勢いでまたあたりと印象が変わります。

# 恵まれた自然・歴史・交通環境……

## 特性を生かしたまちづくりを



大川 私は、これから小田原がどういう方向でまちづくりを進めていくのか、とても関心があります。都心の衛星都市として発展するのか、相模という観光地の表玄関としてまちづくりを進めるのか、それによってもう一度自然環境をどうにもなるか、と思います。

市 長 そうですね。小田原が持っている長所、小田原らしきところをどうにか生かしていくが、まちづくりのポイントになります。

市 長 一つは、海・山・川と、拓土駅が十八あります。特に、東海道線の駅が五つもあるのは全国で小田原だけです。これをうまく活用していきたいですね。

大川 そういふ意味では、文化面の諸施設を小田原に選んで、恵まれた自然環境の中で活用して、もたせたいと思います。

市 長 そのとおりです。幸い、私が自然博物館を小田原に建設します。市でも人文系博物館を城址公園周辺に建設する計画です。また、鴨宮地区に図鑑館も



石黒駒士さん(城山在住)

史です。これを生かしていくことが、一つはおのずか小田原の特色が出てくるのではないかと考えています。

市 長 もう一つは交通環境が優れていることです。新幹線をはじめ五本の鉄道が通り、駅が十八あります。特に、東海道線の駅が五つもあるのは全国で小田原だけです。これをうまく活用していきたいですね。

大川 そういふ意味では、文化面の諸施設を小田原に選んで、恵まれた自然環境の中で活用して、もたせたいと思います。

市 長 そのとおりです。幸い、私が自然博物館を小田原に建設します。市でも人文系博物館を城址公園周辺に建設する計画です。また、鴨宮地区に図鑑館も



伊與田三千子さん(田島在住)

とコミュニティ・センターの第一号を造り、あらゆる副都心的機能を、また、生活に密着して、いっしょの町を育てていきます。

市 長 実は、私は小田原に本当に誇れる伝統や歴史があるのにも思っています。



大川 満さん(柴町在住)

手は自然開発を進めている。小田原の将来についてとお伺いいたします。

市 長 そうですね。まちづくりは、便利だけが価値ではなく、大川 自然環境の保護を自然と人の共同性という考えで、小田原だけという近隣市町と協力



緑豊かな自然環境を誇る小田原

## 心のゆとりを大切に

### 自然と調和のとれた発展を

歴史はあるけれど、市民があまり自覚していないような気がしますが、まちを大事にして、くためには、地域の催しの中で、子どもだけでなく大人も含めて、勉強する機会を持つことが必要だと思います。

市 長 そうですね。小田原は歴史が豊かなまちなんです。地元の人たちはそれを意識していないし、よその人から見るとそうではありません。たとえば、敵と味方の城があるまちと対比してもわかりません。それだけでなく、セルズ・ポイントとして十で、もう一度歴史を再発見して

みる必要があります。もう一つ、地元が歴史遺産を大事にできなかった理由も、小田原は地震に何度か襲われて、歴史の跡を大分失ってしまったためです。地震の影響が、小田原の歴史にとってマイナスに働いてしまったのです。

市 長 おっしゃる通りです。市では今年から地域実態調査を始め、地盤を調べることにしています。的確な防災対策を立てようとしています。

市 長 ほかのまちより地域の歴史心ゆとりは残っているはずですから、これは大事に育てていきたいですね。

市 長 小田原は、教科書にも取り上げられるくらい歴史も産業も自然もある。たいへんバランスのとれたまちです。このバランスを保ちながら発展していくことを望みます。

市 長 地域の横のつながりは大変強いです。これからは高齢者から幼なじみまで縦のつながりを大切にして、豊かに暮らしていければいいと思います。

市 長 はい、今日は大変長い時間、ありがとうございました。みなさんの率直な意見を参考に、市制五十年を十二世紀への新たな出発点として、より大きな飛躍の契機にしたと思います。

「さて、最後みることに小田原の将来についてとお伺いいたします。」

市 長 そうですね。まちづくりは、便利だけが価値ではなく、大川 自然環境の保護を自然と人の共同性という考えで、小田原だけという近隣市町と協力

心ゆとりを大切に、自然と調和のとれた発展を



## 石垣山一夜城跡と 小田原の夜景

▲歴史公園として整備された石垣山からは市街地が一望の下に望めます。



▼ヨーロッパや北アフリカ原産の珍しい植物があります。広くレクリエーションや自然学習の場として利用されています。

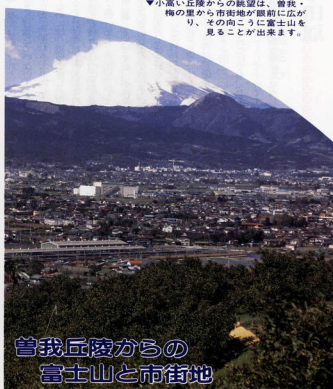
## 辻村植物公園



▲長興山では、しだれ桜が有名ですが、この桜は江戸時代の小田原藩主、稲葉氏が館太寺を建立したころ境内に植えられたもので樹齢約300年の名木です。

## 入生田長興山

▼小高い丘陵からの眺望は、曾我・梅の里から市街地が眼前に広がり、その向こうに富士山を見ることが出来ます。



## 曾我丘陵からの 富士山と市街地

# 市民が選ぶ小田原50選



北条時代以降の長い歴史のある小田原では、四季を通じてたくさんのまつりが催され、情緒あふれる町並みと新しい通りが共存しています。そこで、みなさんの投票をもとに、たくさんの方に親しまれている代表的な景勝、まちなみ、まつり、名産、郷土芸能の五つの項目からそれぞれ十ずつ選びだし「小田原50選」としました。ここで、それらをご紹介します。

# 景勝



## 小田原城

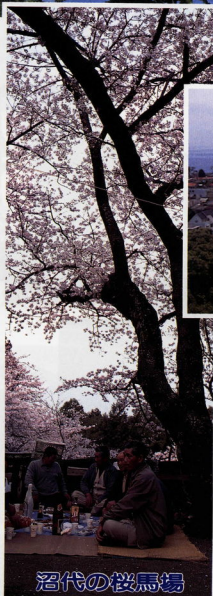
▶天守閣は、小田原のシンボルとなっています。本丸と二の丸、三の丸の一部が国の指定史跡となっています。下の写真は、今年4月に復元された住吉橋。



## 酒匂川と松並木

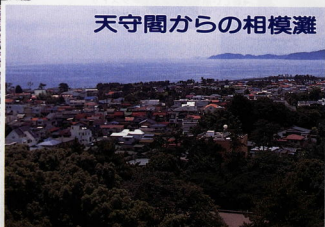


▲市民のいこいの場所となっている酒匂川、はるかに富士山が望め、市の木となっているクロマツの並木がさわやかに迎えてくれます。



## 沼代の桜馬場

## 天守閣からの相模灘



▲昭和35年に復興された現在の天守閣からは、360度のパノラマ風景を見ることができます。中でも、市街地の向こうに広がる相模湾の眺めはとて素晴らしいものです。



## 曾我梅林

▲曾我梅林には一目三万本といわれる梅の木があるといわれています。花の時期にはたくさんの花見客でにぎわいます。

◀桜馬場は、王子神社の神前に奉納する競馬の馬場があったところで、桜並木が美しく、花の時期にはたくさんの花見客でにぎわいます。



## 江之浦から見る 小田原の海岸線

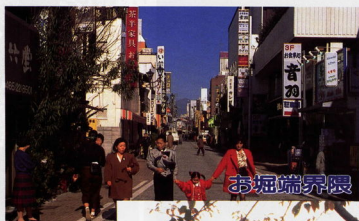
▲山が海にせまった江之浦地区からは、湘南海岸へと続く砂浜の美しい渚がはるかに続いているの一望することができます。

◀起源は小田原北条時代の漁村。今でも水産加工業の店が並び並んでいます。



# まちなみ

▶新しい感覚のショッピングストリートで、明るくポップな飾り付けや清潔さが若い人に人気があります。



▶電線を地盤の下に埋めて、大理石を敷き詰めた道路の現代的な商店街と、小田原城のお堀が隣り合う不思議な空間です。



▲馬場があったことに由来する地名の残るこの付近は、江戸時代の武家地の面影を今に伝えています。



▲大規模な土地開発によって整備された住宅街で、家なみのそろった優れた環境の住宅街です。

## ダイヤ街



▲電線を地下に埋めて、道をカラー舗装した明るい雰囲気のお店街です。

▶地蔵尊で有名な板橋から風祭、入生田辺りの旧東海道は、昔ながらのつくりの町屋が残る懐かしい町なみです。

## 西海子小路周辺



▲昔の武家地だったこの付近は、玉砂利の歩道と桜の並木が美しい町なみを見せています。

## 千度小路付近の家なみ



▶現在の位置に天守閣ができたままに城館があったところ。小高い丘となっているこの辺りは、現在は静かな住宅街となっています。

## 城山付近の家なみ



## 板橋・入生田の旧東海道沿い

## おしゃれ横



▼曾我兄弟のあだ討ちで有名な我は、梅とミカンの産地で、梅ミカンと人家が溶け合った素晴らしい町なみを見せています。

## 曾我・梅の里



# まつり



▶ 5月2日・5日  
城址公園・市内  
北條五代祭り



▶ 1・8月23・24日  
赤福院  
板橋地蔵祭り

## 梅まつり



▶ 2月3月上旬  
城址公園  
御旗梅林



▶ 5月28日  
城前寺  
曾我の傘焼まつり



▶ 7月下旬  
城址公園・市内  
城下町小田原夏まつり

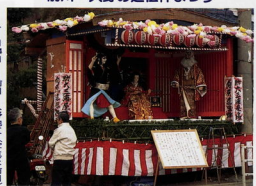


▶ 8月12日  
御幸の浜海岸  
大光明・燦香まつり



▶ 4月初旬  
城址公園  
桜まつり

## 前川・久野の道祖神まつり



▶ 1月14日  
前川・久野地区(安真は前川)

# 郷土芸能

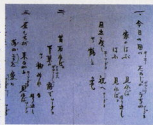


▶ 振り付けはやしきく、を踊る  
うちんを手にミスリカた

## 鎌倉時代以前から伝わる五穀豊穡を占う神事(1月7日・市内小川)



白鹿神社の奉射祭



栢山地区の田植え唄



▶ 一種の神楽で、鳥年收に神社に奉納された獅子舞  
曾我の舞獅子唄



▶ 12月6日  
秋葉山靈院  
(市丹井権堂)  
秋葉山の火防祭



▶ 12月17日・18日  
神福寺  
飯家観音たるま市





小田原漆器

▲江戸中期に確立された漆器作り、木目模様を生かしたのが特徴



寄木細工・木ぞうがん

▲木材のもつ色を組み合わせた箱根・小田原の工芸品



▲江戸時代に細工師の職人に特注品として重要なられた

小田原ちようちん



小田原組末細工

▲木片を止め金具を使わずに組立てた、り解けてくる玩具



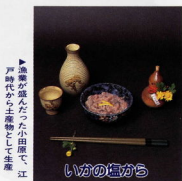
うめ・梅千し

▲北条時代ごろから作られたと伝えられ、果肉が厚く全国的にも有名



小田原の小木工品

▲伝統の木工技術を生かして、木地玩具など幅広く生産



▲漁船が獲らった小田原で、江戸時代から土産物として生産

いかの塩から



小田原銘菓



かまぼこ・ちくわ

▲梅の産地ならではの、梅干しにふさわしい数々の郷土銘菓

▲江戸時代から作られ、風味と歯切れがよく全国的にも有名



ひもの

▲あじがまると保存食として開き干したことが始まり



北条太鼓

▲和太鼓奏者経美さん(右)曲指の指揮の下町小田原をイメージした新しい本鼓



根府川の鹿島踊

▲海に面したこの地域に伝わる神事舞踊(7月の第3日曜日・寺山神社)



小田原囃子

▲江戸祭ばやし系の系統に属し、音曲は変化に富み独特の風格をもつ



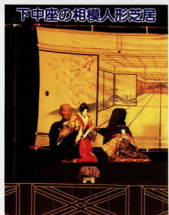
▲環状の山道の山道を馬子やかがきが登り下りしたときの壮事唄

箱根馬子唄・長持唄



大湯水唄

▲ぶり餅などを掲げるお祭りの壮事唄で、神社祭りのときの儀仗唄もなる



▲江戸時代から小竹地区に伝わる人形芝居



市制30周年(昭和45年)



**小田原城の常盤木門を再建**  
小田原城の城門の中で一番格式の高かった常盤木門を復元。天守閣と好一対の白壁が周囲の緑に美しく映える。(昭和46年5月お城まわりの大名行列)

**◆業績経済功勞**  
中村伊知郎 建設正義 石 郷土 大曾敏昭 権野 正 柳川福太郎 平貞 坂本 柳田敏雄 久保 田原隆 鈴木嘉郎 山田富 田原隆 鈴木嘉郎 山田富 小田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会 小 田原市協賛会

**◆本市功勞**  
小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合 小田原市市建設協賛組合

**◆市長賞**  
東条小一 石井肇 二 久末にすまいない 新玉小一 山田雅代 お たしのすも割 久野小三 石橋松久 久野小三 佐藤美子 下中四郎 保田宗子 下中四郎 保田宗子 下中四郎 保田宗子 下中四郎 保田宗子

**◆教育委員賞**  
東条小一 加藤大巳 白田一年 高田甲子 小 田原の自然をいまでも 白田一年 高田甲子 秘 的好な小田原 桶中三年 井上彦彦 上り 良い小田原

「ゆたかな人 活力ある街 文化のふる街 小田原」  
記念作文コンクールの入賞者



市制40周年(昭和65年)

新中央公民館の開館  
540名収容のホール・円形図書・和室などを備え、社会教育の拠点施設。



城山陸上競技場が全天候型に



栃木県今市市と姉妹都市の提携を



小学生の描いた小田原の未来(ときめき小田原夢まつりの会場で)

年表その2

昭和55年～58年	昭和45年～54年
一九三〇(4) 市体育協会が発足	一九六七(42) 10月 第2次住居表示整備事業(青町・東町)
4月 豊川小学校が開校	一九六八(43) 10月 水産市場が操業開始
	一九六九(44) 7月 高田浄水場が一部完成し操業開始
	10月 第3次住居表示整備事業(城山)
	一九七〇(45) 7月 新御幸のまつりが開演
	一九七二(46) 3月 小田原城常盤木門を復元(市制30周年記念)
	4月 橋町と合併
	12月 第4次住居表示整備事業(扇町)
	市営市場が完成
	1972(47) 1月 西陣ハイパスが全面開通
	2月 緑と水の豊かな住みよい都市を目指し総合計画の基本構想を策定
	11月 公設青果地方卸売市場が開演
	3月 社会福祉センターが開演
	1974(49) 5月 酒匂川川敷スポーツ広場を開演
	7月 市役所の新庁舎が完成
	1975(50) 7月 市花(あじさい)制定、市の木(もろまゝ)の市花(ふり)が制定される
	11月 小田原駅東口広場と地下街が完成
	1976(51) 4月 国府津公民館が開演
	1977(52) 12月 小田原スポーツ会館が完成
	1978(53) 3月 城山陸上競技場の全天候型改修工事が完成(市制40周年記念)
	7月 城址公園の環境浄化事業を開始(市制40周年記念)
	9月 1日 目で見る小田原のあゆみの16ミリ映画が完成(市制40周年記念)
	10月 旧松水記念館を郷土文化館分館として開館
	12月 新中央公民館が完成(市制40周年記念)
	栃木県今市市と姉妹都市提携
	小田原市市制50周年事業始まる
	4月 在宅で楽たりのお年寄りの「アイサ」サービス事業開始
	5月 アメリカ会議場カピトルアザリョラヒスタと海外姉妹都市提携を結ぶ
	5月 森林レクリエーション施設「いの森」オープン
	12月 小田原水工団地が完成
	12月 酒匂川流域下水道左岸処理場が運転開始



# 市制50周年の記念行事



▶北条太政の初披露(1月28日)  
和太鼓奏者林吾が小田原をイメージして作  
市民有志が練習活動、このとき小田原まわり  
のオーリンピック初披露、まわりを舞を舞えた。

小田原が市制を施行してか  
ら、今年でちょうど五十年を  
迎えました。歴史を  
振り返り、また、市民有志  
が北条氏を代表して、全国平  
定するのかけとつた正  
十八年小田原合戦からは四  
百周年目。そして、アメリカ合  
衆国のワシントン州シア  
タスと姉妹都市提携をし  
てから今年が五十年目です。  
この日を記念して、と銘  
打ち、四月二十八日のオープ  
ンセレモニーを皮切りに、本  
日の「小田原市五十年周年  
記念式典」で、多彩なイベ  
ントを盛り行いました。

のみなさんの積極的な参加  
をいただき、小田原の魅力を  
広くアピールする機会が  
できました。  
来年の「国際交流祭」が、  
この日を皮切りに、小田原の  
魅力により、小田原が、  
さらに海外の橋とつながる  
よう、開かれたい。市民有志  
が、この日を記念して、と銘  
打ち、四月二十八日のオープ  
ンセレモニーを皮切りに、本  
日の「小田原市五十年周年  
記念式典」で、多彩なイベ  
ントを盛り行いました。

一九〇一年「小田原市は、市制五十年  
年を迎えました。天正十八年(一九〇〇)の小  
田原合戦からは四百周年目にして、来年はメリ  
カ合衆国ワシントン州シアタス姉妹都市  
提携してから十年目、これを記念して、この  
とき小田原まわりと銘打ち、市民のみなさんと  
多彩なイベントを開催しましたので、ご紹介しま

## ▶メインホール(4月~8月)

壁面に再生紙でできた「紙管」323本  
を使用した、世界初のユニークな建  
築物として注目を浴びた。



## ▶戦国関東三国志(5月6日)

戦国時代、関東の覇を争った武  
田信玄、上杉謙信、北条氏康。  
この三英雄が本根を構えた甲府、  
上越、小田原の三市長が一堂に  
会し「小田原会盟」を行った。



▶辻村植物公園(6月7日)  
昭和62年から整備された、  
辻村植物公園が全面オープン。  
市民が自然と触れ合える憩いの場。

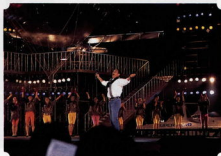


## ▶小田原球場オーリンピック(10月6日)

市中心的の勢の衰えに、球場オーリ  
ンピック、式典、ソフトボール、スウェーデン、大  
洋行、西遊、が行われ、観衆の声を浴びた。

## ▶KANSAI FASHION SPECTACLE WAOHI! 天・地・水(5月13日)

やまもと寛喜総指揮による、ライブ演奏  
あり、ダンス、コーラスあふりの世界初の  
ミックスメディア・ファッションショー。



## ▶大間一夜城跡大茶会(4月29日~5月6日)

秀吉は小田原合戦の際、千利休とともに  
茶の湯をたしなんだという。その  
石垣山一夜城跡に趣向を凝らした  
茶席が設けられ、往時をしのんだ。



## 昭和58年~平成2年

### 年表その3

- 一九三〇 第一回小田原城跡が開発される
- 一九四〇 城山陸上競技場の新管理棟が完成
- 一九五〇 新坂球場が完成
- 一九五九 市立病院の全面改築工事が完了
- 一九六〇 富士小中学校が開校
- 一九六六 建設庁等の認可事務が県から委託さ  
れる
- 一九六六 防炎行政用無線が全市域で整備完了し、  
放送を開始する
- 一九六六 市水創設50周年
- 一九六六 野崎島農産物の生産「豊雨庵」が全面開園
- 一九六六 記念館の館内内装修・復元される
- 一九六六 新設計画「小田原21世紀プラン」を  
議会で決定
- 一九六七 小田原城二の丸中庭の三石復元工事を  
開始
- 一九七二 二葉書徳生堂2000年記念行事「えい、  
ど小田原」を開催
- 一九八八 藤澤サミットを開催
- 一九八八 藤澤記念館の改修工事を完成
- 一九八八 独居老人緊急通報システムの試行開始
- 一九八八 小田原駅西口東横線の鉄道立替交渉が  
完成
- 一九八八 保健センターがオープン
- 一九八八 情報室開設度がスタート、行政情  
報センターを設置する
- 一九八八 ケンパチシステムで情報提供を開始
- 一九八八 開業学院大学小田原キャンパスの起工  
式を挙げる
- 一九八八 さわやかフロンサービス事業を開始
- 一九八八 石垣山一夜城跡が歴史公園として整  
備完了する
- 一九八八 小田原城二の丸中庭の住吉橋が復元さ  
れる
- 一九九〇 4月 ときめき小田原まつりが開幕
- 一九九〇 6月 辻村植物公園が全面開園
- 一九九〇 8月 音声応答サービス「おだわららしの  
テレホンガイダンス」スタート
- 一九九〇 10月 市立公園の小田原球場がオープン
- 一九九〇 12月 市民が選ぶ小田原50選決定
- 一九九〇 12月 市制施行50周年記念式典を挙げる